



本校マスコット
けんた・かな



●お問い合わせ先●

和歌山県立高等看護学院

〒649-6604 和歌山県紀の川市西野山505番1

TEL 0736-75-6280 FAX0736-75-6283

e-mail e0501111@pref.wakayama.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050111/kenkan>

令和6年4月1日

和歌山県立 高等看護学院

学院案内 令和6年



Wakayama Prefectural Nursing School

看護師になりたいあなたの“愉しみ学ぶ”を支え、次代を担い地域で活躍できる人材を育成します。



教育理念

- 人間尊重を基盤とし、調和のとれた豊かな人間性を備えた人材を育成します。
- 看護専門職に必要な知識・技術・態度を備えた人材を育成します。
- 主体性・創造性を備えた人材を育成します。
- 専門職としての責任感や研究的態度を備えた人材を育成します。
- 県民の健康と幸せに貢献できる人材を育成します。

学院の特色

伝統

昭和25年5月に開学。
以来、令和6年3月までに学院を
巣立った卒業生は5,126人。
県内の医療機関を中心に活躍し、
県民の健康と幸せを支え続けています。



環境

世界で初めて全身麻酔による
外科手術に成功した『華岡青洲』
ゆかりの地で、医療の歴史を感じながら学べます。
また、まんだらげの花をイメージし、看護を学ぶ学生のためにデザインされた校舎は対話し交流できるアカデミックな環境です。



学科及び定員

学 科	1学年定員	総定員	修業年限	備考
看護学科	50人	150人	3年	

沿革

- 昭和25年 5月 新制度による看護師養成所として和歌山県立医科大学附属高等看護学院を設立
5月22日開校
- 昭和27年 4月 和歌山県立高等看護学院と改称
和歌山市徒町に新築し移転
- 昭和28年 2月 所管変更により看護師養成所として厚生省認可
- 昭和28年 10月 保健師養成所として厚生省認可
- 昭和42年 2月 助産師養成所として厚生省認可
- 昭和42年 4月 保健助産学部（合同コース）の養成開始
- 昭和42年 9月 和歌山市和歌浦に新築し移転
- 昭和43年 12月 進学課程（夜間3年）の看護師養成所として厚生省認可
- 昭和53年 3月 専修学校として認可
- 昭和55年 4月 看護学科一部の定員を45名に増員
保健助産学部を保健学科・助産学科に分離し定員をそれぞれ15名とする
- 昭和58年 4月 保健学科の定員を20名に増員
- 平成2年 4月 看護学科一部の定員を50名に、
看護学科二部の定員を45名に増員
- 平成6年 4月 看護学科二部、夜間から昼間の定時制に移行
- 平成11年 4月 那賀郡那賀町に新築し移転
- 平成17年 11月 紀の川市となる
- 平成19年 3月 保健学科の閉学科
- 平成23年 4月 看護学科二部の定員を40名に減員
- 平成24年 4月 看護学科二部の定員を35名に減員
- 平成29年 4月 助産学科の定員を10名に減員
- 令和2年 3月 看護学科二部閉課
- 令和2年 4月 看護学科に名称変更
- 令和4年 4月 助産学科の定員を5名に減員
- 令和6年 3月 助産学科閉課

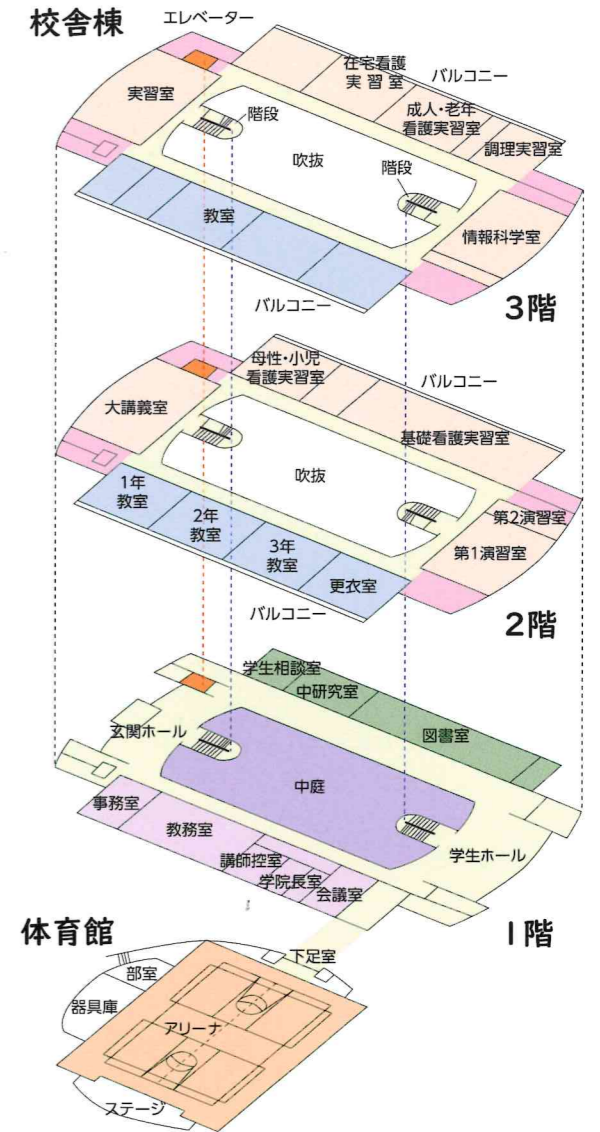
学費及び修学資金

授業料（年間）	120,600円
入学考査手数料	5,500円
入 学 金	22,000円
修 学 資 金 等	・修学資金を貸与する制度があります。 ・入学金及び授業料を免除する制度があります。 ・専門実践教育訓練給付金の支給対象校です。

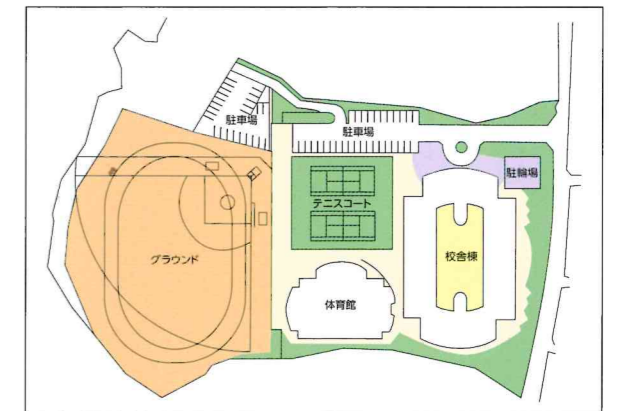
その他

スクールカウンセラー	相談日があります。
学 生 寮	学生寮はありません。
駐 車 場	学院に隣接した民間駐車場があります。

施設の概要



配置図



体育館はもとより、グラウンドやテニスコートまであり、県内有数の規模を誇っています。

看護学科(3年課程)

この学科は、高等学校卒業を入学資格とする、看護師の資格を得るための教育コースです。看護の実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、専門職として保健医療福祉の分野で社会に貢献できる看護師を育成します。



教育内容

基礎分野	専門基礎分野	専門分野
心理学 (1単位)	解剖生理学Ⅰ (2単位)	看護学概論 (1単位)
教育学 (1単位)	解剖生理学Ⅱ (2単位)	成人の健康と看護Ⅱ (1単位)
情報科学 (1単位)	生化学 (1単位)	成人の健康と看護Ⅲ (1単位)
論理的思考 (2単位)	病理学 (1単位)	成人の健康と看護Ⅳ (1単位)
人間探索 (1単位)	病態学Ⅰ (2単位)	成人の健康と看護Ⅴ (1単位)
社会学 (1単位)	病態学Ⅱ (1単位)	老年看護学概論 (1単位)
倫理学 (1単位)	病態学Ⅲ (1単位)	高齢者の健康と看護Ⅰ (1単位)
英語Ⅰ (1単位)	病態学Ⅳ (1単位)	高齢者の健康と看護Ⅱ (2単位)
英語Ⅱ (1単位)	病態学Ⅴ (1単位)	小児看護学概論 (1単位)
英語Ⅲ (1単位)	微生物学 (1単位)	子どもの健康と看護Ⅰ (1単位)
人間関係論Ⅰ (1単位)	薬理学 (1単位)	子どもの健康と看護Ⅱ (1単位)
人間関係論Ⅱ (1単位)	臨床検査 (1単位)	子どもの健康と看護Ⅲ (1単位)
保健体育 (1単位)	臨床判断の基礎 (2単位)	母性看護学概論 (1単位)
	健康と栄養 (1単位)	母性看護活動論Ⅰ (1単位)
	公衆衛生学 (2単位)	母性看護活動論Ⅱ (2単位)
	社会福祉論 (2単位)	母性看護活動論Ⅲ (1単位)
	看護関係法令 (1単位)	精神看護学概論 (1単位)
		精神の健康と看護Ⅰ (1単位)
		精神の健康と看護Ⅱ (1単位)
		精神の健康と看護Ⅲ (2単位)
		成人看護学概論 (1単位)
		成人の健康と看護Ⅰ (1単位)
		成人の健康と看護Ⅱ (1単位)
		成人の健康と看護Ⅲ (2単位)
		看護マネジメント (1単位)
		医療安全 (1単位)
		災害看護と国際看護 (1単位)
		看護実践の倫理 (1単位)
		臨床看護実践演習 (1単位)
		多職種連携の基礎 (1単位)
		多職種連携の実践 (1単位)
		ケーススタディ (1単位)
		基礎看護学実習Ⅰ (2単位)
		基礎看護学実習Ⅱ (2単位)
		地域・在宅看護論実習Ⅰ (2単位)
		地域・在宅看護論実習Ⅱ (2単位)
		成人・老年看護学実習Ⅰ (2単位)
		成人・老年看護学実習Ⅱ (2単位)
		成人・老年看護学実習Ⅲ (2単位)
		小児看護学実習 (2単位)
		母性看護学実習 (2単位)
		精神看護学実習 (2単位)
		統合実習 (3単位)

合計112単位

資格取得

看護師国家試験受験資格
保健師・助産師学校受験資格

学校行事

新入生歓迎体育祭
学院祭
看護宣誓式

授業日程

月曜日～金曜日 9:00～16:10

主な実習場所

公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院及び紀北分院
橋本市民病院
公立那賀病院
独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山労災病院
和歌山県立こころの医療センター
医療法人 南労会 紀和病院
和歌山つくし医療・福祉センター
県内保健所・保育所・訪問看護ステーション・老人福祉施設 等

本校が求める入学生像

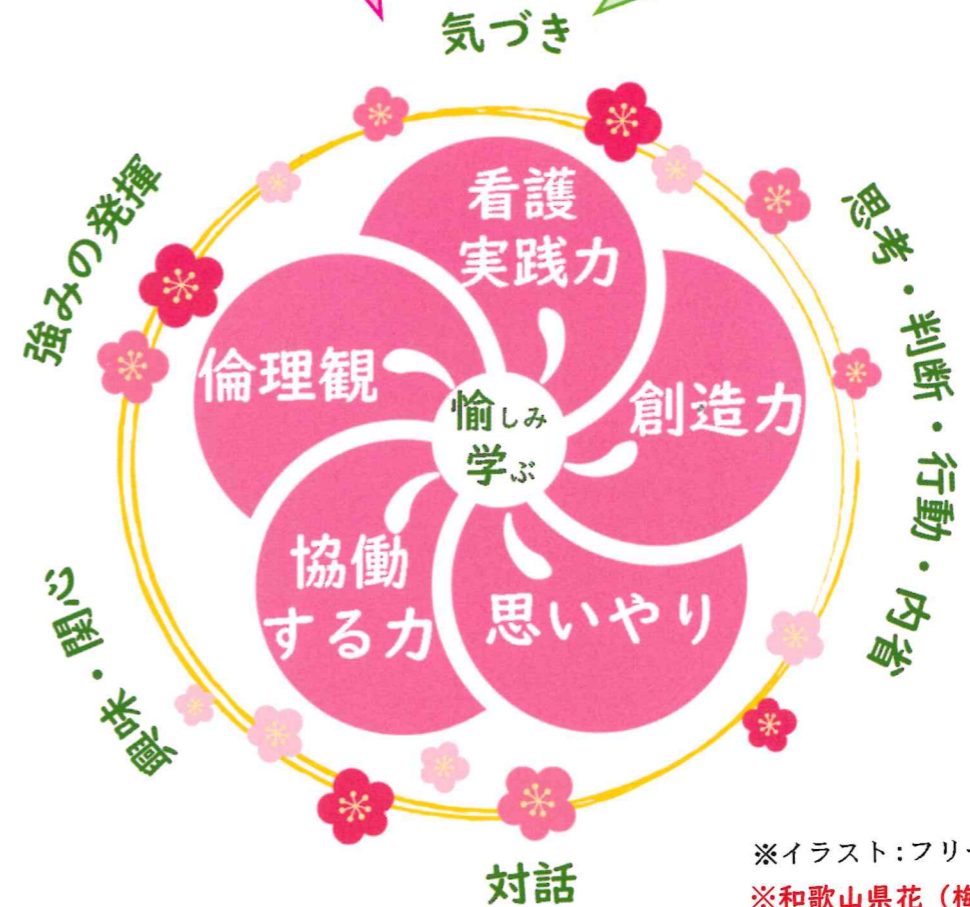
- “看護師になりたい”と強い意志のある人が大前提です。
- そして、自分も他者も大切にできる人、自分のおこなったことを客観的に振り返ることができる人、あらゆることに柔軟に対応しようとする人、自らの健康に興味をもち自己管理ができる人、人と助け合って目標に向かっていける人を求めます。

梅の花の中心となる“愉しみ学ぶ”とは、なりたい看護師像に向かって活き活きと主体的に看護学生生活を送ることです。そこには、辛ささえも愉しく乗り越えていけるという意味もあります。また、看護を探究する内なる愉しさが続いていくということです。

花びらの言葉は、本校の特色である環境の下、本校のカリキュラムを修得することで身につく力を表しています。

- 看護実践力：最新の知識・技術をもち対象のニーズに合わせた最適な看護を実践する力
- 創造力：主体性をもち全てにおいて自身で考え発展させる力
- 倫理観：看護実践において常に揺るがないもの
- 協働する力：看護の役割を理解した上で他者と協力する力
- 思いやり：自他ともに慈しみ、気遣える心

梅の花を取り囲んでいる言葉は、本校の教育で大切にしていることです。看護は、気づくことから始まります。その気づきは、思考・判断・行動の源となり、看護をもっと知りたいと思う興味・関心へと広がっていきます。そして、あらゆる実践について常に自分を軸に客観的に振り返る（内省）ことが、さらなる気づきをもたらす、成長に繋がります。人である自己・他者の強みに気づくことは、よりよく個々が持てる力を発揮できることとなります。また、みなさんの学びにおいては、教員をはじめ仲間や実習指導者等との対話を重視していきます。



※イラスト：フリー素材使用
※和歌山県花（梅）をモチーフにデザインした本校の教育

上の図でこの花が示すものは、どんな時もみなさんを見守ってくれる家族や、成長・学びを助け協力してくれる地域の方、仲間や教職員、実習指導者等を表しています。

学 生 か ら の メ ッ セ ー ジ



1 年

1年生では主に、看護師になるために必要な基礎知識を学びます。聞きなれない用語がたくさんあり戸惑うこともありましたが、仲間とともに学びあっています。

美術館や寺院を訪れたり、自分の夢について語る『人間探索』といった授業もあり、体験を通して感性を磨き、人として成長できる学びもあります。日々、『看護』という言葉の重みを実感して学んでいます。

新入生歓迎会や学院祭といった行事、演習などを通して他学年との交流も盛んです。わからないことがあれば先生や先輩方が真摯に向き合ってくれます。

同じ夢をもつ者として、皆さんに会えることを楽しみに学院でお待ちしております。ともに学びましょう！！



3 年

1, 2年生では、主に学内での講義や演習、3年生では実習を中心に学んでいます。

実習では、目の前にいる患者さんに看護学生として何ができるのか悩むことも多くありますが、看護師さんや先生方、仲間の支えもあり、看護を実践することができています。

患者さんが回復していく姿、笑顔や「ありがとう」と感謝の言葉をいただいた時は、看護の持つ力を強く感じ、毎日の学びが自分自身の成長につながっていることを実感します。

入学したときに、クラスメイトで「素敵な看護師になる」ことを決意し、同じ目標をもつ仲間と助け合いながら充実した看護学生生活を送っています。



私たち2年生は、1年生で学んだ疾患などの基礎知識をもとに、「看護」についてさらに詳しく勉強しています。授業は講義だけでなく、学外で実際に地域の幅広い年代の人たちと交流して普段の生活の様子を知る学習があります。

演習では、患者さんへの看護場面をリアルに再現した状況の中で、自分たちが考えて実施することで多くの気づきや学びがあります。

日々新しいことを吸収し、それを実践に移すことは簡単ではありませんが、一緒に頑張っている仲間や親身に寄り添ってくださる先生方のおかげで充実した学校生活を送っています。また、学年を超えての交流が多く、先輩方に気軽に相談できるためとても心強いです。

みなさんと一緒に勉強できるのを楽しみにしています。



2 年

